

第327回

日文研フォーラム

講師◎楊 際開

杭州師範大学国学院(中国) 専任研究員 / 日文研 外国人研究員

近代中国革命の思想的起源——日本からの建国思想の受容を中心に

コメンテーター◎瀧井 一博
日文研教授

司会◎吉江 弘和
日文研助教

2019年3月12日(火) 十四時～十六時(開場十三時四十分頃)

ハートピア京都3階大会議室

入場無料・先着一八〇名まで

申込不要(十三時十五分頃より整理券配布)

International Research Center for Japanese Studies

The 327th Nichibunken Forum

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター



日文研フォーラム

近代中国革命の思想的起源

—日本からの建国思想の受容を中心に—

The ideological origins of China's modern revolution:
Concerning the acceptance of state-founding thought
from Japan

清朝（一六一六—一九一一）はどのように崩壊したのか。従来の財政史・経済史とは異なる、東アジア内部の文化交流史という視点から、清朝の政治的正統性が切り崩されていく過程を辿ります。はじめに、親民説の台頭、次に、祖徠学の伝播とその意味、華夷思想の反転、そして最後に、高権力の実態に対する再認識という四つの側面から考察を進めたいと思います。

近代中国革命は、まず明治天皇のような政治的権威を創出しなければならなかった。日本は、いわば近代中国革命の出発点なのです。

講師 楊 際開 杭州師範大学国学院(中国) 専任研究員/日文研 外国人研究員



1988年3月学習院大学政治学研究科政治学修士課程修了、1993年3月東京大学総合文化研究科国際関係論専攻博士課程修了。2001年9月杭州師範大学政治経済学部講師、2011年～2018年杭州師範大学国学院専任研究員。2014～2015年国際日本文化研究センター外国人研究員、2018年4月より現職。共同研究会「近代中国革命の思想的起源—日本からの建国思想の受容を中心に」を主催する。専門分野は、東アジア政治思想史。主要著作に『清末変法と日本：宋恕の政治思想を中心に』（上海古籍出版社、2010）などがある。

コメンテーター 瀧井 一博 日文研 教授



京都大学法学部卒業、京都大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学、京都大学博士(法学)。京都大学人文科学研究所助手、神戸商科大学助教授、日文研准教授等を経て、2013年より現職。専門分野は、国制史、比較法史。主要著作に『渡邊洪基』（ミネルヴァ書房、2016）『明治国家をつくった人びと』（講談社現代新書、2013）、『伊藤博文—知の政治家』（中公新書、2010）、『文明史のなかの明治憲法—この国のかたちと西洋体験』（講談社、2003）などがある。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

http://www.nichibun.ac.jp/ja/



日文研



京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄丸太町線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「丸太町」バス停下車